

令和 8 年 6 月

令和 7 年道警察重点目標等への取組結果（函館方面）

函 館 方 面 本 部

目次

令和7年重点目標等に基づく取組結果（総括）	P 1
-----------------------	-----

第1 重点目標

1 制服を見せる街頭活動の強化等による犯罪の起きにくい社会づくり	P 2
2 子供、女性の犯罪被害と特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺被害の防止	P 3
3 重要犯罪等道民に不安を与える犯罪の徹底検挙	P 4
4 暴力団、匿名・流動型犯罪グループ等犯罪組織の弱体化・壊滅	P 5
5 交通死亡事故の抑止	P 6
6 災害等への的確な対処	P 7
7 テロ等不法事案の未然防止	P 7
8 サイバー空間の脅威への的確な対処	P 8

第2 業務運営上特に留意すべき事項

1 厳正な規律の保持と警察活動を支える基盤の強化	P 9
2 道民の要望・意見の把握と誠実な対応	P 9

用語の説明	P10～11
-------	--------

検証指標の設定基準

【重点目標】

○ 成果指標

重点目標達成に向けた取組等の推進状況を示す指標

○ 取組指標

成果指標の良化につながる取組状況を示す指標

○ その他指標

成果指標等に直接連動するものではないものの、重点目標に関連し、
現下の諸課題に対する取組に係る指標

- 令和7年中、道警察では、
基本理念「犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現」に向け、
活動指針「道民とともに道民のために～強く正しく誠実に～」の下に定めた
重点目標と業務運営上特に留意すべき事項に基づいて各種取組を推進しました。
道警察函館方面本部管内におけるこれら取組の主な結果は次のとおりです。

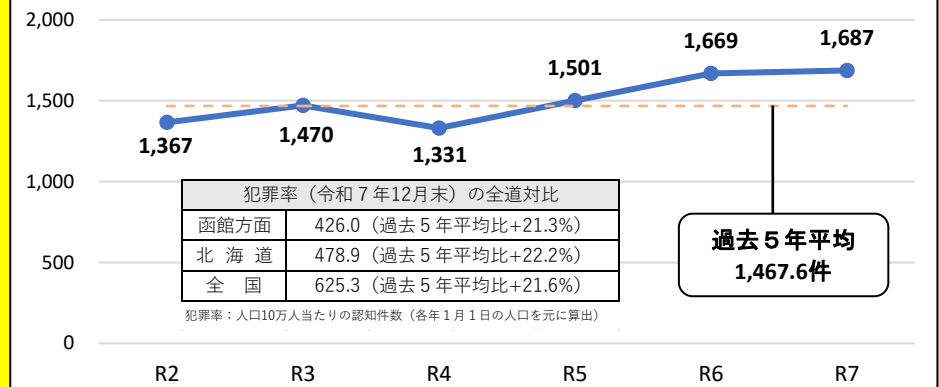
重点目標

- ・ 刑法犯認知件数は前年から増加した一方、犯罪率は全国平均を下回る
- ・ 子供・女性被害犯罪認知件数は前年から減少、重要犯罪や重要窃盗犯の検挙率は高水準を維持
- ・ 特殊詐欺の認知件数は前年から増加、SNS型投資・ロマンス詐欺被害の認知件数は減少
- ・ 交通事故発生件数、死者数及び傷者数は前年から増加
- ・ 令和6年の能登半島地震の教訓を踏まえ、各種訓練等の災害対策を推進
- ・ テロ、ローン・オフエンダー等による不法事案の発生はなし
- ・ サイバー犯罪検挙件数や違法・有害情報の削除要請件数は前年から増加

道警察函館方面本部では、令和7年中の治安情勢などを踏まえて定めた令和8年道警察重点目標に基づいた取組を推進いたします。

成果指標・総括

刑法犯認知件数

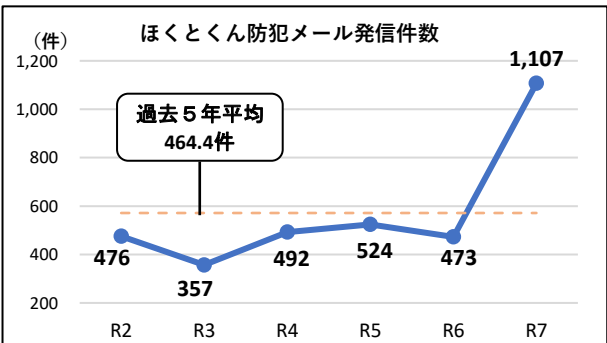
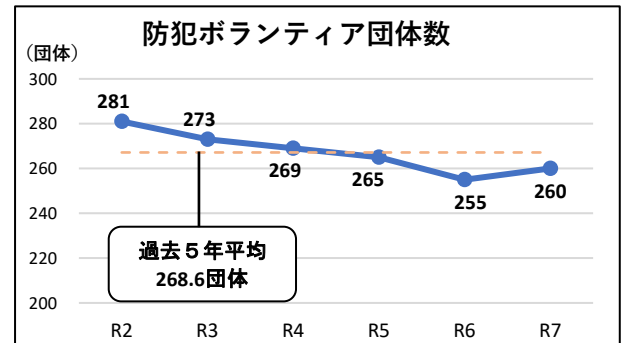
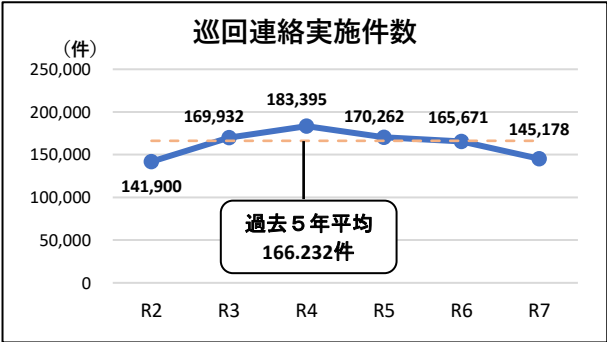
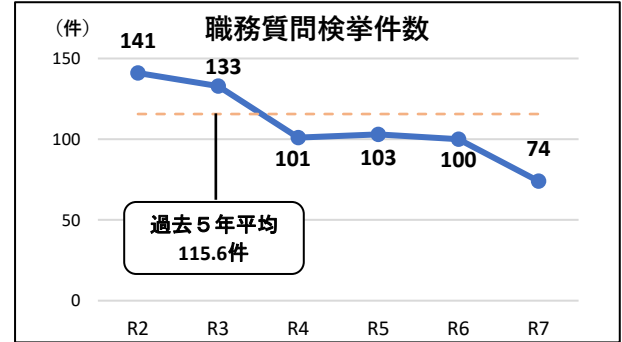


刑法犯認知件数は、北海道内を見ても増加傾向にあり、函館方面管内においては、過去5年平均比で+219.4件（+14.9%）と増加している。

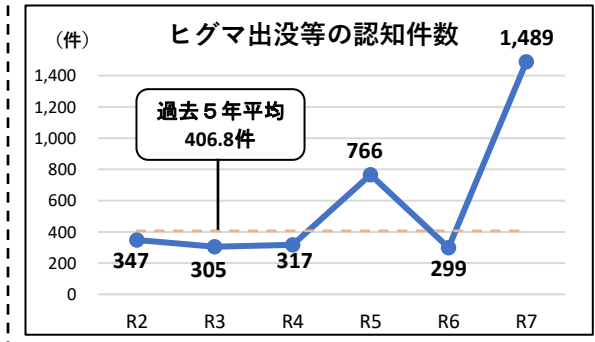
特に、昨年については認知件数の62%を占める窃盗犯のうち、非侵入窃盗は744件で前年比+84件（+12.7%）と増加しており、街頭における犯罪の増加が認められた。

令和7年の「犯罪率」（人口10万人当たりの刑法犯認知件数）については、道内の数値を下回っているものの、過去5年平均比の数値と比較すると増加傾向となっていることから、地域警察官による職務質問や巡回連絡など制服を見せる街頭活動の強化、防犯ボランティア団体への継続的な支援や犯罪発生時のタイムリーな情報発信など、犯罪の起きにくい社会づくりに向けた取組をより一層推進する必要がある。

取組指標



その他指標

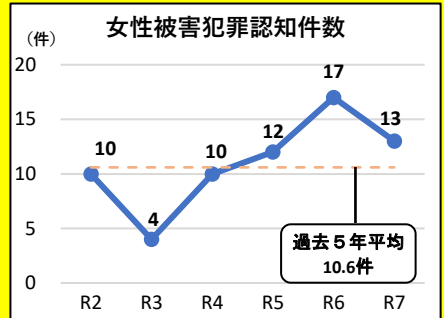
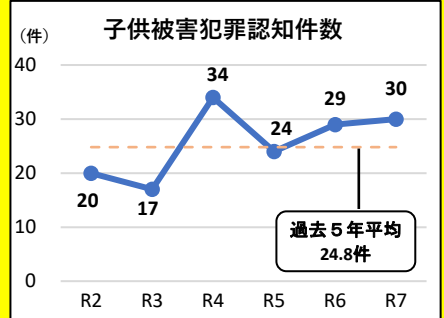


ヒグマに関する自治体等との連携状況
自治体等と連携した訓練、会議の実施回数：215回（前年同期比+141回）

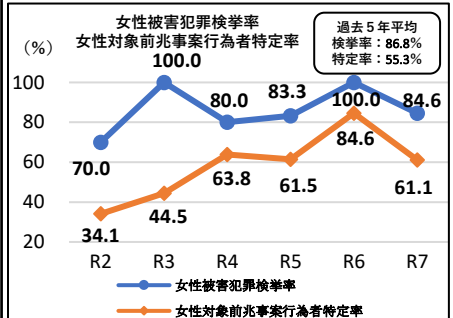
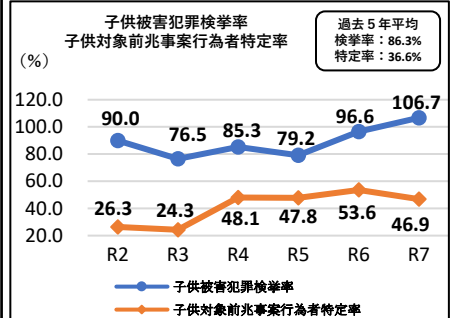
ヒグマの出没等の認知件数は増加しており、警察は自治体等と情報共有し、訓練、会議を実施するなど連携強化を図り、適切な対応に努めている。

子供、女性の犯罪被害の防止

成果指標



取組指標

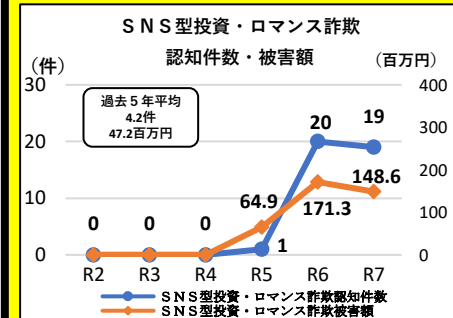
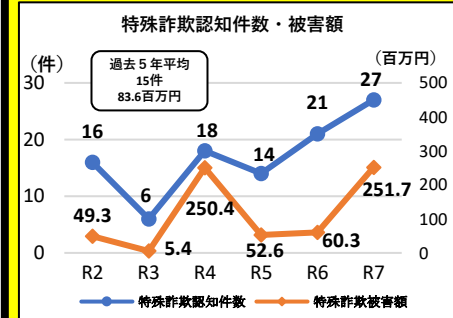


総括

- 子供被害犯罪認知件数は、過去5年平均比+5.2件 (+21.0%) と増加傾向であり、関係機関との連携強化等によって一層の犯罪被害防止に向けた取組が必要である。
- 女性被害犯罪認知件数は、過去5年平均比+2.4件 (+22.6%) と増加傾向が強くなっているが、その要因は令和5年の法改正等に基づき、継続して実施している痴漢・盗撮撲滅キャンペーンなどの広報啓発により、警察相談・通報しやすい気運の醸成が図られたことが一因と考えられる。
- 子供・女性被害犯罪の検挙率は、80%を超えており、引き続き、迅速・的確な初動捜査や方面本部と警察署の連携による捜査等により、高い水準の検挙率の維持に努める。

特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺被害の防止

成果指標



総括

- 特殊詐欺認知件数・被害額は、過去5年平均比で認知件数+12件 (+80.0%)、被害額約+1億6,800万円 (+201.1%) といずれも増加が顕著であり、より一層、各種媒体を用いた広報啓発、関係機関と連携した水際対策、巡回連絡等を通じた犯人からの電話を直接受けないための対策を推進する必要がある。
- SNS型投資・ロマンス詐欺認知件数・被害額は、過去5年平均比で認知件数+14.8件 (+352.4%)、被害額約+1億140万円 (+214.8%) といずれも増加が顕著であり、幅広い世代への広報啓発、金融機関と連携したインターネットバンキング利用者に対する注意喚起等、被害状況を踏まえた対策を推進する必要がある。

その他指標

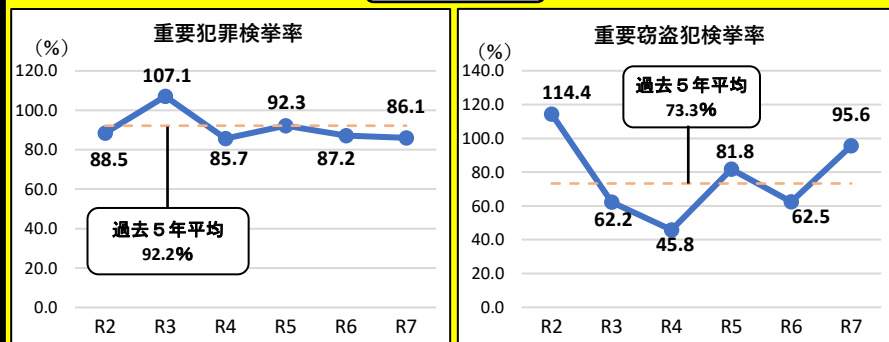
○ 被害防止教養実施件数 (年度数値)		R2	R3	R4	R5	R6
	子供対象	126	114	132	299	310
	女性対象	17	20	29	50	51

○ いじめ相談受理件数		R3	R4	R5	R6	R7
	受理件数	10	15	10	12	15

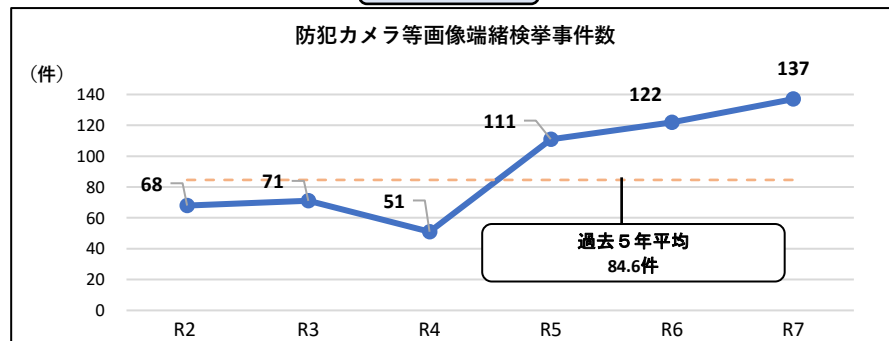
○ いじめに起因する事件の検挙・補導件数及び人員		R3	R4	R5	R6	R7
	件数	0	0	0	1	1
	人数	0	0	0	1	1

重要犯罪等検挙

成果指標



取組指標

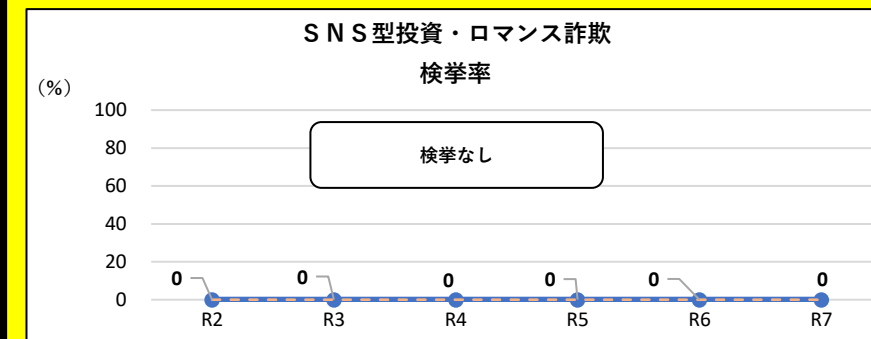
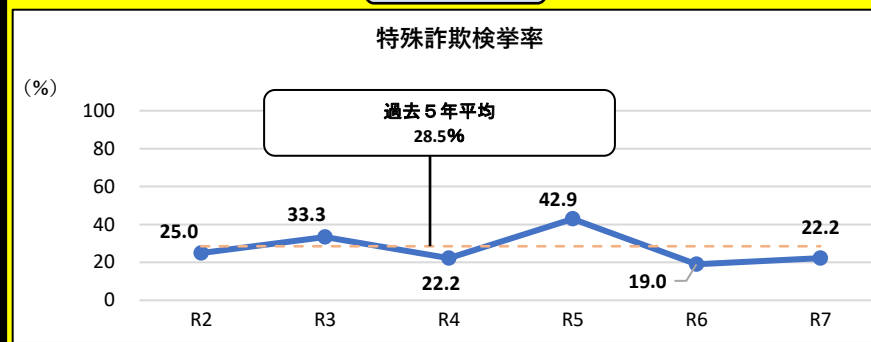


総括

- 重要犯罪検挙率は、86.1%であり、過去5年平均比で6.1pt低下しているが高い検挙率を維持している。
- 重要窃盗犯検挙率は、95.6%と前年比で33.1pt上昇しているほか、道内の検挙率（74.5%）を上回っている。
- 引き続き、重要犯罪、重要窃盗犯の検挙に向け、鑑定、防犯カメラ画像解析等を始めとした効果的かつ緻密な捜査を推進し、被疑者の検挙に努める。

特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺検挙

成果指標



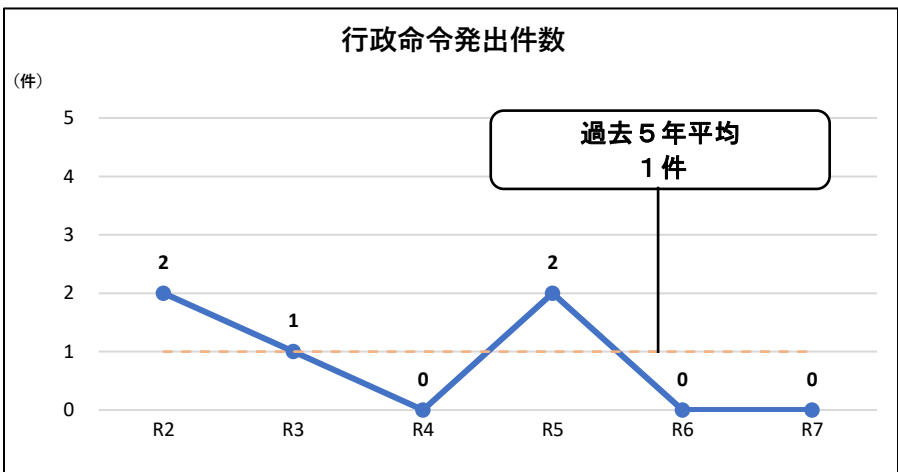
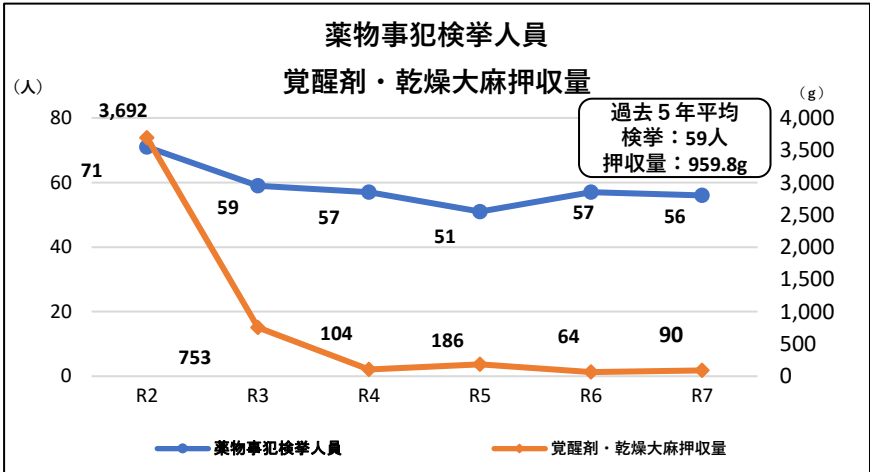
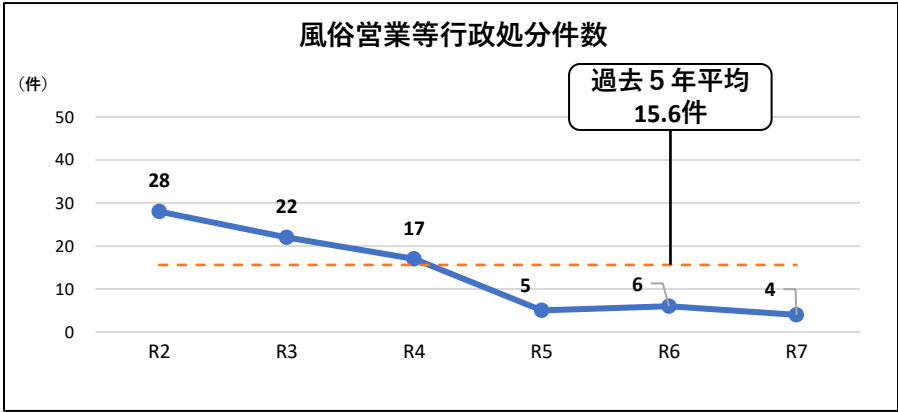
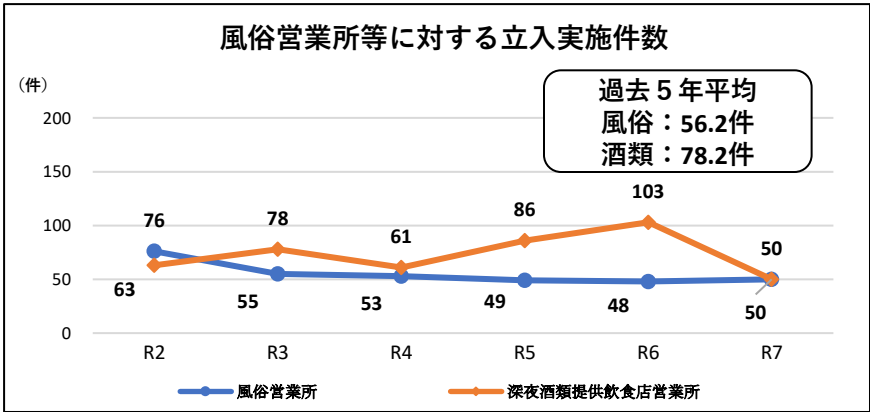
総括

- 特殊詐欺検挙率は、22.2%であり、前年比で3.2pt上昇しているが、過去5年平均比で6.3pt低下しており、その要因としては、犯行手口の匿名化、巧妙化等によるものと考えられることから、あらゆる捜査手法の活用を図りつつ被疑者検挙に向けた捜査活動を推進する。
- SNS型投資・ロマンス詐欺は、函館方面管内でも発生が後を絶たず、検挙と抑止の両面から総合的に対策を推進する必要がある

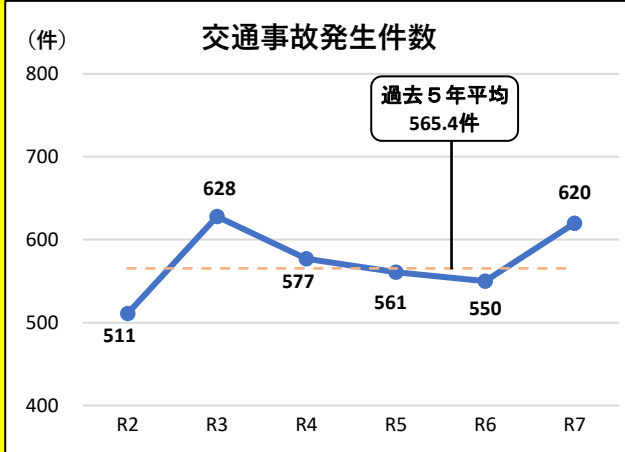
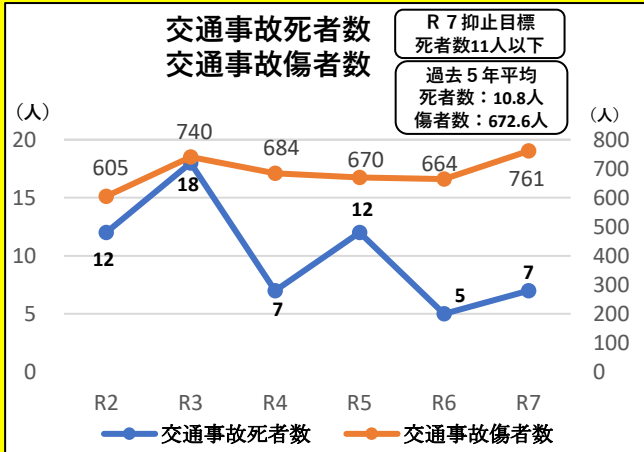
成果指標・総括

暴力団の勢力数は、過去5年平均比で減少となり、全国、道内ともに減少傾向にある。
その要因として、暴力団員の事件検挙や暴力団排除活動、離脱支援等による弱体化が奏功していると考えられる一方、暴力団が活動実態を不透明化させているといった側面（課題）も認められる。

取組指標

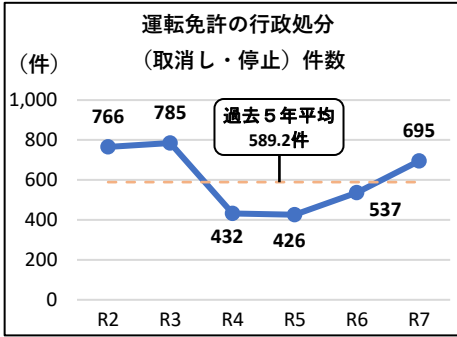
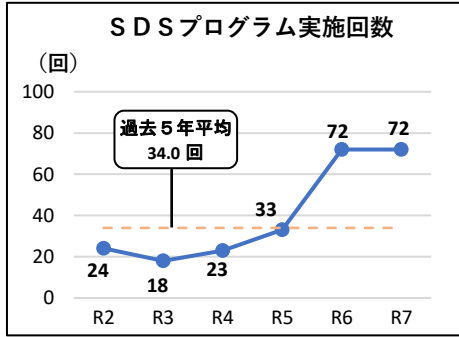
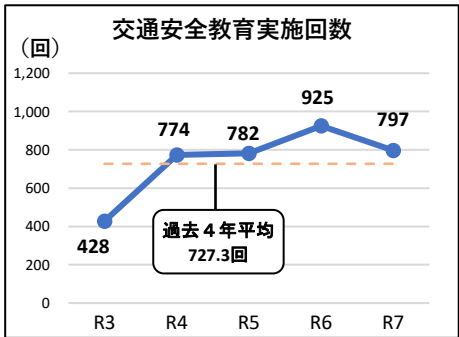
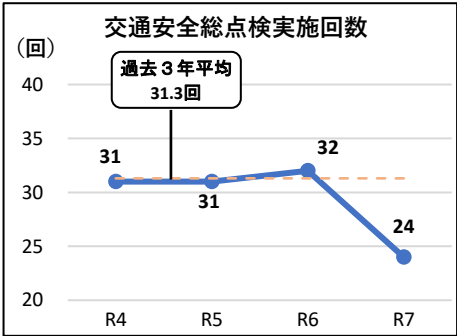
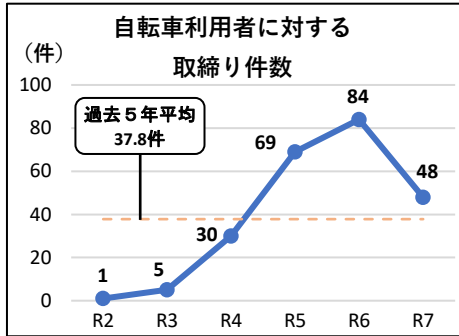
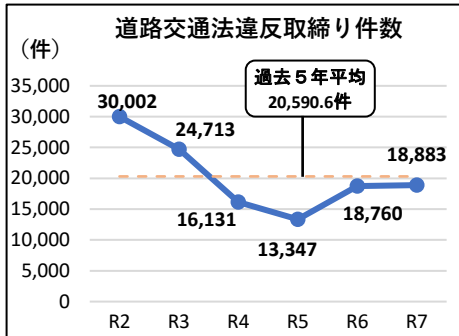


成果指標・総括



- 令和7年中の交通事故死者数は、過去5年平均の10.8人を下回る7人で、「車両対人」の事故類型の減少が顕著であった。
- 交通事故発生件数・傷者数はともに前年比で増加。交通事故全体の約88%が「市街地」において発生し、うち「交差点」での発生が約60%であった。
- 道路交通法違反取締り件数は、過去5年平均と比較して若干下回ったが、自転車利用者に対する取締り件数は同平均を上回った。
- 市街地交差点における交通事故の発生を抑止するため、引き続き信号無視、一時不停止違反等の交差点違反の取締りを強化するほか、SDSプログラムなどを通じた高齢運転者対策、飲酒運転根絶対策に取り組んでいく。

取組指標



その他指標

- 飲酒運転等味っツの受理・検挙件数

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
受理	18	22	25	30	34	44
検挙	2	2	0	1	0	1
- 交通情報発信件数

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数	463	515	411	386	371	330
- 申請による運転免許の取消し件数

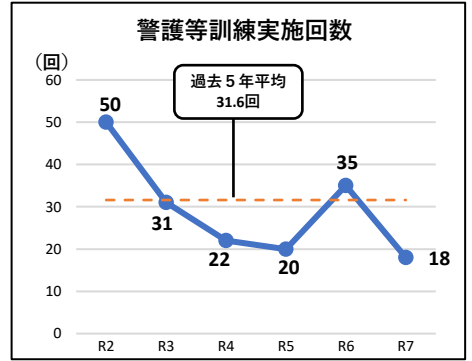
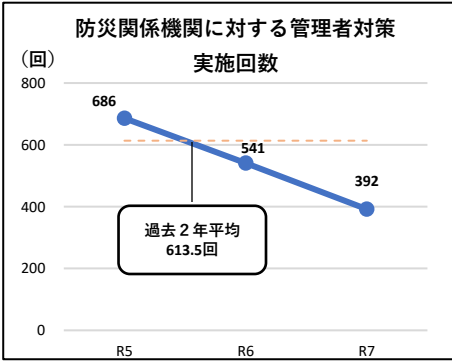
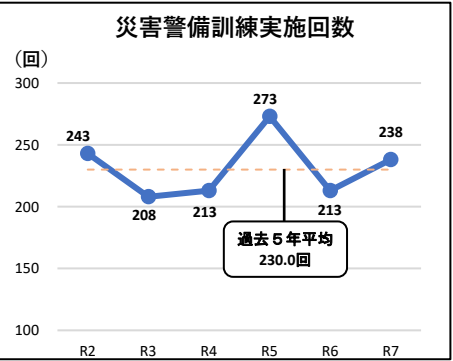
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数	1,565	1,557	1,420	1,276	1,351	1,340
- 信号灯器のLED化率（年度数値）(%)

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
率 (%)	24.2	25.6	27.9	30.2	33.6	50.3

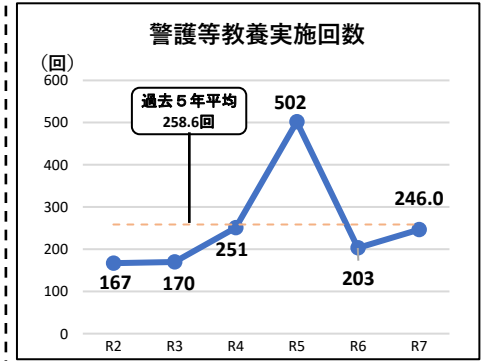
主な成果・総括

- 例年、常時観測火山の噴火を想定した噴火災害警備訓練を実施しているほか、令和6年の能登半島地震の教訓を踏まえた訓練を実施するなど、災害対応能力の向上に努めた。
- 警衛警護への的確な対応を念頭に、各種施策を推進した結果、外国要人警護や複数警護を含む全ての警衛警護を大過なく完遂しており、関連指標からも一定以上の成果が得られていると考えられる。

取組指標



その他指標

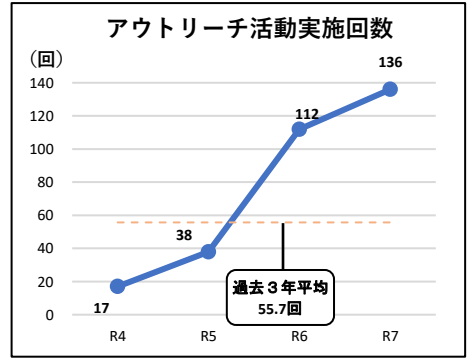
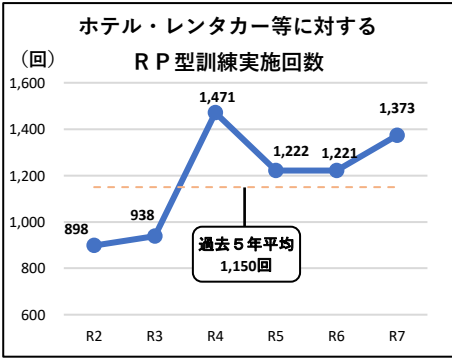
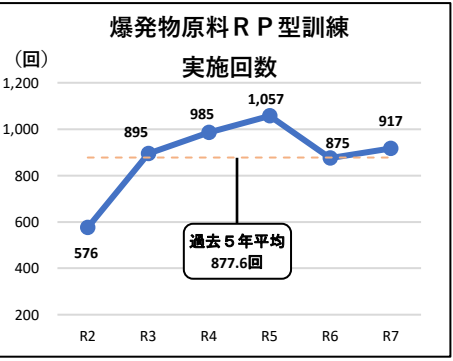


7 テロ等不法事案の未然防止

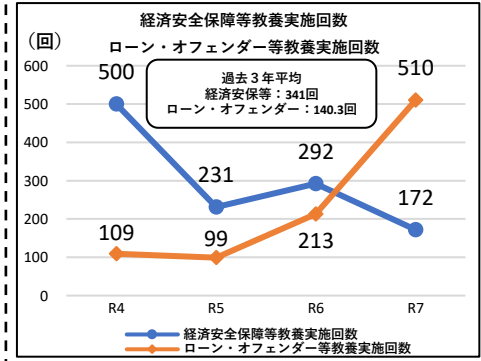
主な成果・総括

- 令和7年中におけるテロ等不法事案の発生はない。
- 警戒の空白を生じさせないための組織運営として、「経済安全保障」や「ローン・オフエンダー等」の対策を強化しており、関連指標からも一定以上の成果があると考えられる。

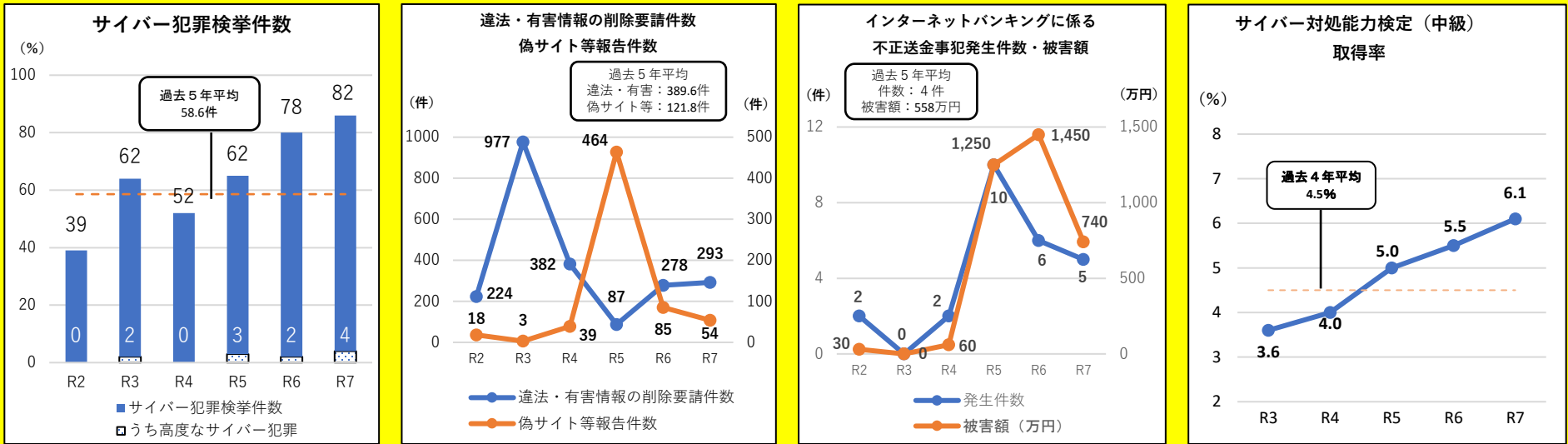
取組指標



その他指標



成果指標・総括

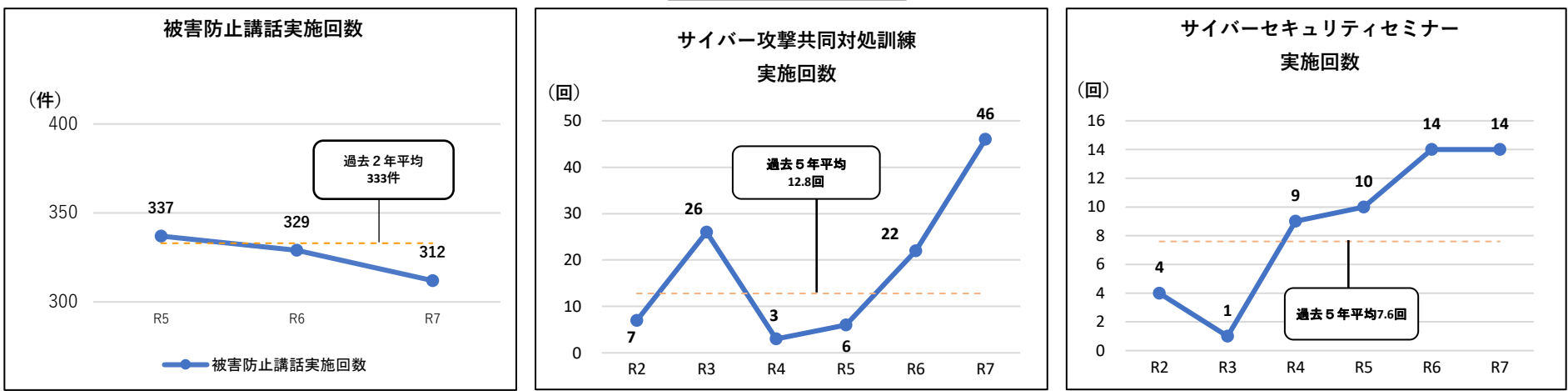


○サイバー犯罪の検挙件数は、過去5年平均比+23.4件 (+39.9%) で高水準となっており、年間目標である41件に対する達成率は200.0%となっている。

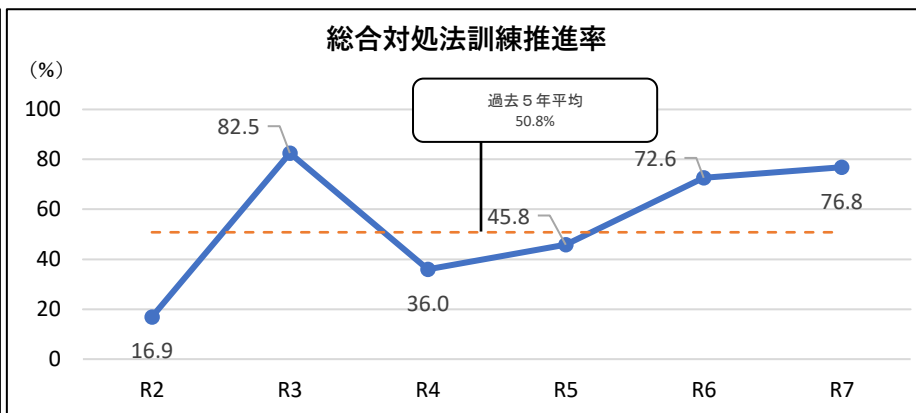
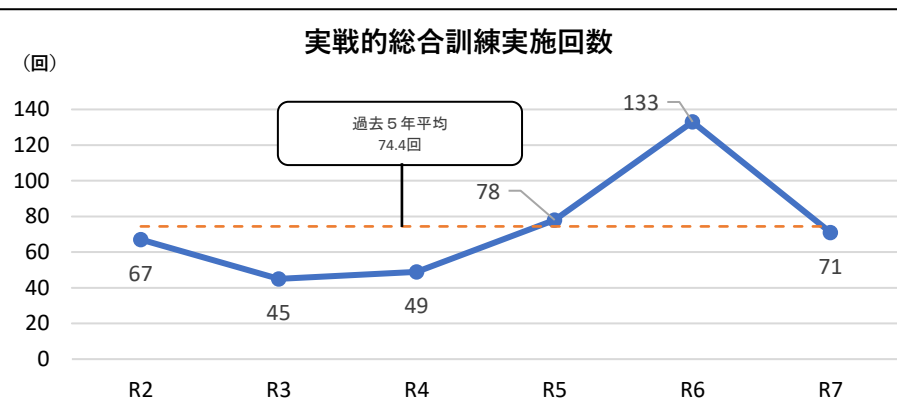
○違法・有害情報の削除件数は過去5年平均比-96.6件 (-24.8%)、偽サイト・詐欺サイトの報告件数は過去5年平均比-67.8件 (-55.7%) といずれも減少したが、どちらも年間目標 (違法・有害情報167件、偽サイト等17件) を達成した。

○不正送金事案の発生件数は5件で、過去5年平均比+1件 (+25.0%)、被害額は過去5年平均比+182万円 (+32.6%) といずれも増加しており、全ての事犯がフィッシングサイトに起因していることから、フィッシングサイトに対する閲覧防止措置等の対策、事業者等への対策が求められる。

取組指標



- 実践的総合訓練の実施回数については、前年比－62回と減少しており、事案対応等と並行した訓練時間及び訓練人員の確保が課題となっている。
- 総合対処法訓練の推進率については、前年比－4.2%、過去5年平均比＋26%であるが、現場執行力強化のために欠かせない訓練であるため、更なる訓練推進に向けて取り組んでいく。



2 道民の要望・意見の把握と誠実な対応

- 各警察署において、協議会委員からの要望・意見に誠実に対応した結果、反映件数は増加した一方、要望・意見の件数は減少していることから、引き続き、多くの要望・意見を引き出すための創意工夫を凝らした協議会の運営が課題となる。
- 警察相談業務で把握した要望等のうち、最多となるのは「交通指導取締り」等を含む交通部門に関するもの、次いで「ストーカー、DV等の犯罪の被害防止に関するもの」等を含む生活安全部門に関するものである。

公安委員会に対する要望・意見数

	R2	R3	R4	R5	R6	過去 5 年 平均	R7
要 望	3	2	3	1	0	1.8	1
意 見							
反 映	0	0	0	0	0	0	0

【反映事例】

- なし

警察署協議会で把握した要望・意見数

	R2	R3	R4	R5	R6	過去 5 年 平均	R7
要 望 意 見	55	73	58	93	109	77.6	102
反 映	9	23	13	23	23	18.2	29

【反映事例】

- 外国人技能実習生による交通事故防止に係る提言を受け、実習生が稼働する水産加工場において交通安全講話を実施、日本の交通ルールや夜光反射材の活用等について指導した。
- 現役世代の特殊詐欺等被害防止対策に係る提言を受け、管内の自治体や事業者（に）働き掛けを行い、運営するホームページ上に警察庁特殊詐欺等対策ページへのリンクを設定してもらった。

警察相談業務で把握した要望・意見数

	R2	R3	R4	R5	R6	過去 5 年 平均	R7
要 望 意 見	496	450	422	377	310	411	322
反 映	16	50	20	16	24	25.2	15

【反映事例】

- J R 駅前ロータリーでの逆走事故を防止する対策をしてほしいとの要望を受け、パトロールを強化するとともに、道路管理者に改善を促したことにより、交通資機材の設置による対策が講じられた。
- 不法投棄が続発し、警告看板等を設置では改善されないで対応してほしいとの要望があり、管轄署において、聞き込み、早朝の張り込み等を実施して行為者特定し、検挙、解決した。

関連 重目	用語	内容
重 1	防犯ボランティア団体	犯罪を未然に防止しようと、パトロールの実施や子どもの見守りなどの活動を行っている団体。（平均月 1 回以上の活動実績があり、かつ構成員が 5 人以上の団体からの申請に基づいて道警察が指定）
重 1	はくとくん防犯メール	地域住民等の自主防犯意識を醸成し、被害防止対策の促進を図ることを目的に、自主防犯行動等を講じるために必要な情報をあらかじめ登録した利用者の携帯電話、パソコン等にタイムリー送信されるメール
重 2	子供被害犯罪	子供（16歳未満）の生命又は身体を害する犯罪
重 2	女性被害犯罪	女性（16歳以上）に対する性的犯罪
重 2	前兆事案	子供被害犯罪又は女性被害犯罪の前兆と認められる次の罪及び行為 ① 公然わいせつ ② 軽犯罪法違反（粗野又は乱暴な言動、身体露出、窃視、追随等） ③ 性的姿態撮影等処罰法違反（ひそかに性的姿態を撮影する行為） ④ 北海道迷惑行為防止条例違反（卑わいな行為、反復したつきまとい行為等） ⑤ 声掛け等（声掛け、つきまとい、身体への接触、容姿の撮影、不安を抱かせる行為） ※ ストーカー行為等の規制等に関する法律違反（つきまとい等、ストーカー行為）については、令和 7 年 10 月 1 日より前兆事案の定義から除外
重 2 重 3	特殊詐欺	被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪 【主な類型】 オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺 など
重 2 重 3	SNS 型投資・ロマンス詐欺	SNS 等を通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、 【投資詐欺】投資金名目やその利益の出手手数料名目などで金銭等をだまし取る詐欺（SNS 型ロマンス詐欺に該当するものを除く。） 【ロマンス詐欺】恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取る詐欺
重 2	犯罪実行者募集情報	SNS 等において、仕事の内容を明らかにせず、「高額」、「即日即金」、「ホワイト案件」等、「楽で、簡単、高収入」を強調する表現を用いるなどして、犯罪実行者を募集する情報（投稿） 【警告件数】SNS における返信（リプライ）機能を活用した投稿者等に対する個別警告を実施した件数 【発見件数】特殊詐欺等の犯行を助長するおそれのある投稿に対する注意喚起のための情報の発信（リプライ）を要する情報を発見した件数
重 3	重要犯罪	殺人、強盗、放火、不同意性交、不同意わいせつ、略取誘拐・人身売買

関連 重目	用語	内容
重 3	重要窃盗犯	侵入窃盗、自動車盗、ひったくり、すり
重 3	防犯カメラ等画像端緒検挙事件	防犯カメラ等画像を端緒として捜査し、被疑者を検挙した事件
重 4	匿名・流動型犯罪グループ	SNS を通じるなどした緩やかな結び付きで離合集散を繰り返すなど、そのつながりが流動的であり、また、匿名性の高い通信手段等を活用しながら役割を細分化したり、特殊詐欺や強盗、窃盗等の違法な資金獲得活動によって蓄えた資金を基に、更なる違法活動や風俗営業等の事業活動に進出したりするなど、その活動実態を匿名化・秘匿化する集団
重 4	風俗営業所等	風俗営業所及び深夜酒類提供飲食店営業所
重 4	風俗営業等行政処分	北海道公安委員会又は方面公安委員会が行う指示処分、措置命令、営業停止命令等の処分
重 4	行政命令	指定暴力団員がその所属する暴力団の威力を示して不当な要求行為を行った場合等において、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に基づいて発出する中止命令、再発防止命令等
重 5	交通安全総点検	地域住民や道路利用者の主体的な参加のもと道路交通環境の点検を行うこと
重 5	S D S プログラム	Silver Drivers Support プログラム。交通事故の当事者となった 70 歳以上の運転者を対象として、個別に交通安全指導を行うとともに、運転免許証の自主返納について考える機会を提供するなどの取組
重 5	飲酒運転ゼロボックス	地域住民から飲酒運転に関する情報提供を電子メールにより幅広く求め、飲酒運転根絶対策に反映させるための取組
重 5	交通情報	警察が保有する交通安全や交通事故の情報

関連 重目	用語	内容
重 7	R P 型訓練	ロールプレイング型訓練。関係事業所に不審者が来訪した場合等の想定の下、事業所従業員等が実際に不審者役の警察官に対応し、不審点の発見や対応要領、通報要領などを身に付ける体験型の訓練
重 7	アウトリーチ活動	企業等に対し、その自主的な技術情報流出防止対策を支援するため、警察が捜査等の過程において解明した外国からの働き掛けによる技術情報等の流出の実態や、その対策等について情報提供する活動
重 7	ローン・オフエンダー	特定のテロ組織等と関わりのないままに過激化した個人
重 8	サイバー犯罪	① 不正アクセス禁止法違反 ② コンピュータ・電磁的記録対象犯罪 ③ ネットワーク利用犯罪
重 8	高度なサイバー犯罪	上記①及び②
重 8	違法・有害情報	【違法情報】インターネット上の流通が法令に違反する情報（児童ポルノ、規制薬物の広告に関する情報等） 【有害情報】犯罪や事件を誘発するなど公共の安全と秩序の維持の観点から放置することができない情報（直ちに違法とは評価されないものの自殺誘引等情報や爆発物等の製造方法、殺人等の違法行為の請負、拳銃等の譲渡、テロの呼び掛け等に関する情報等）
重 8	偽サイト等	実在する企業等のウェブサイトを模した「偽サイト」、インターネットショッピング等に係る詐欺を目的とした「詐欺サイト」、「偽ブランド品販売サイト」、金融情報や個人情報等を不正に入手する目的で実在する企業等を騙って識別符号等を入力させる「フィッシングサイト」等
重 8	サイバー対処能力検定	サイバー空間の脅威への対処に関する知識及び技能の向上させるための全ての警察職員を対象とした検定
重 8	サイバー攻撃共同対処訓練	重要インフラ事業者等の基幹システムにおけるセキュリティ対策を踏まえた上で想定され得る脅威や被害等をシナリオにした実戦的な訓練及び事後検証

関連 重目	用語	内容
留 1	実戦的総合訓練	第一線の現場の取扱状況や教訓とすべき事案等を題材とした想定に基づき、届出の受理（事案の認知）、現場臨場、職務質問、擬律判断、逮捕、捜査書類の作成等の一連の警察活動をロールプレイング方式により実施又は指揮する訓練
留 1	総合対処法訓練	犯人の襲撃や抵抗などに直面した場合の状況判断能力を養うとともに、勤務員相互の連携、装備資機材の効果的活用方策を修得し、もって受傷することなく犯人を制圧・検挙するために必要とされる柔軟かつ迅速・的確な判断能力及び対処技能の向上を図る訓練
留 2	警察署協議会	警察法第53条の2の規定に基づき警察署に置き、警察署の管轄区域内における警察の事務の処理に関し、警察署長の諮問に応ずるとともに、警察署長に対して意見を述べる機関
留 2	警察相談	道民等から寄せられる警察安全相談、要望・意見又は苦情